

葛飾区総合庁舎整備のあり方検討委員会の検討状況等について

1 概要

葛飾区総合庁舎整備のあり方検討委員会（以下「あり方検討委員会」という。）の検討については、昨年7月から検討を始め、11月には「中間とりまとめ」を行い、本年2月には最終とりまとめに向けた検討の参考とすることを目的に3回の「区民の意見を聴く会」を実施してきたところである。

今回、「区民の意見を聴く会」以降の検討経過と今後の予定等について報告する。

2 区民の意見を聴く会後の検討の方向性

区民の意見を聴く会の実施後開催されたあり方検討委員会で検討した結果、次の2点が確認された。

- (1) 種々の意見があったことを踏まえて、今後の検討を行う。
- (2) あり方検討委員会としては、中間のとりまとめのとおり、「総合庁舎の抱える課題への抜本的な対応を行うためには、建替えを前提に」引き続き検討を進める。

3 今年度の検討経過と予定等

- (1) あり方検討委員会の検討経過と今後の予定

平成23年度は、最終とりまとめに向けてこれまで3回あり方検討委員会を行い、東日本大震災による庁舎の被災事例なども踏まえた上で、本庁と支所の役割や新館改修の可能性についての検討、青戸平和公園・立石駅北口地区の見学などを行ってきた。

今後、優位性の高い整備手法や候補地などについて検討を行い、10月中下旬を目途に最終とりまとめを行う。

- (2) 区民への広報

総合庁舎整備の検討状況について、連合町会ごとに説明を行う。

- (3) 議会への報告

あり方検討委員会の最終とりまとめについて、本委員会への報告を行う。

<参考>

区民の意見を聴く会で寄せられた意見等の内容とこれに対する区の考え方
別紙のとおり